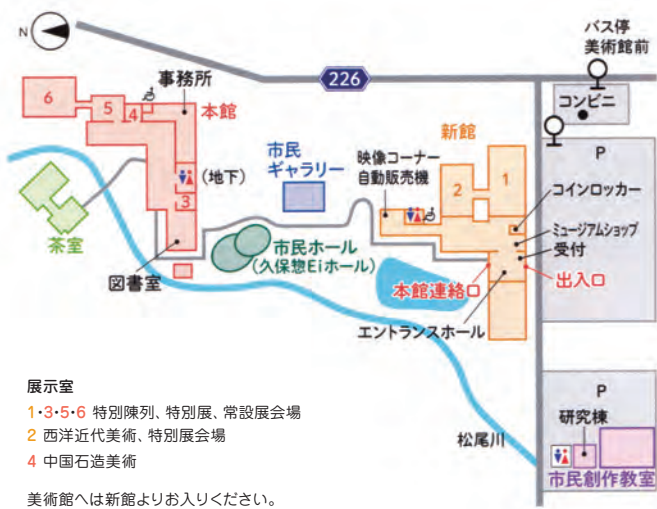


施設のご案内



本館

当館は当地で綿業を営んできた久保惣株式会社より地元への記念として、美術品、敷地、建物、基金が和泉市に寄贈され、昭和57年10月に開館しました。「本館」は、この開館時に寄贈された施設です。

新館

「新館」は、久保惣株式会社によって建設され、平成9年11月に和泉市へ寄贈されました。展示室は2室ありそのうち一つは西洋近代絵画を中心に展示しています。

茶室

本館庭園内にある惣庵と聴泉亭は、昭和12年に久保家が表千家の不審庵と残月亭を写して建てた茶室で、本館とともに和泉市へ寄贈されました。平成18年に茶室が、令和7年に附属の蔵などが登録有形文化財（建造物）に登録されました。茶庭は令和3年に登録記念物（名勝地関係）に登録されました。

和泉市久保惣市民ホール（久保惣Eiホール）

開館中の主に土曜、日曜、祝日（不定期）にミュージアムコンサートなどの演奏会を催しています。（開催についてはホームページをご確認ください）

和泉市久保惣市民ギャラリー

絵画、書、工芸など、市民の創作活動の発表の場として活用されています。

和泉市久保惣市民創作教室

絵画、陶芸、染色などの創作教室が開かれています。

市制70周年記念 展覧会スタンプラリー

年間4回の展覧会に来館されスタンプをためた方にすてきな景品を用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

利用のご案内

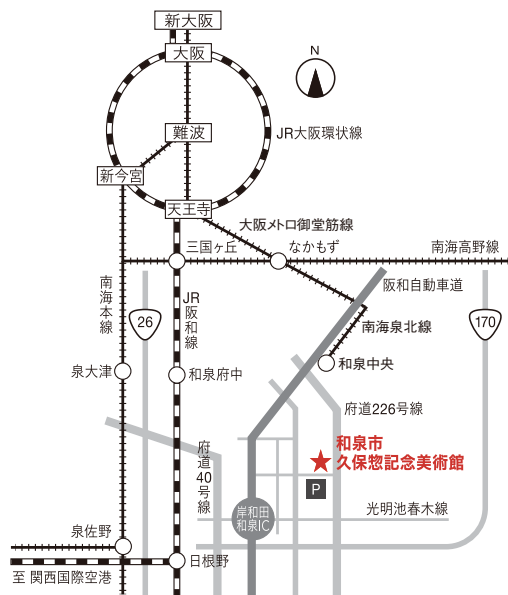
開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日 月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）
 陳列替期間 年末年始
 （カレンダーの中の印は休館日）

入館料
 （中学生以下無料）

	常設展	特別陳列	特別展
一般	500円	600円	※
高大生	300円	400円	※

- 団体（有料入館20名以上）は2割引／65歳以上は2割引
- 各種障がい者手帳等を提示された場合、本人および介助者1名は無料 ※特別展入館料は未定
- 電子マネー、クレジットカード等のキャッシュレス決済利用可能

交通のご案内



■電車の場合

- 南海泉北線………和泉中央駅下車、南海バス①乗り場より「美術館前」行乗車（約10分）

→バス停「美術館前」下車

■車の場合（無料駐車場有）

- 阪和自動車道「岸和田・和泉」インターより約3分



和泉市久保惣記念美術館

KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

くぼそう

検索

<https://www.ikm-art.jp>

〒594-1156 大阪府和泉市内田町3-6-12 TEL:0725-54-0001 FAX:0725-54-1885

Izumi 70th Anniversary

KUBOSO

MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

EXHIBITION SCHEDULE

2026.4 - 2027.3



「睡蓮」クロード・モネ

和泉市久保惣記念美術館

年間展示案内 2026年4月 — 2027年3月

2026 April

4	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

June

6	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30					

August

8	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	
9	10	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24	25	26	27	28	29	
30	31						

October

10	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

December

12	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

February

2	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28							

May

5	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

July

7	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

September

9	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30				

November

11	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7		
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

2027 January

1	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

March

3	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31				

※ 白抜きは休館日を示します

KUBOSO MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI EXHIBITION SCHEDULE 2026.4-2027.3

コレクション特別陳列展（特別陳列）

北斎・広重 — 絶景！頂上決戦 —

2026年 4月12日(日) — 6月14日(日)

和泉市制施行70周年を記念して美術館が所蔵する浮世絵版画の中から、浮世絵師を代表し、特に風景画にすぐれた絵師、葛飾北斎と歌川広重の作品をご紹介します。題して絶景！頂上決戦。北斎は広重よりもおよそ40歳年上で、東海道を題材とする作品を広重よりも早くに制作しています。風景画への興味が北斎の代表作である富嶽三十六景に結実しました。北斎が富嶽三十六景を制作している同じ頃に広重は彼の名を世界に知らしめた東海道五十三次を版元保永堂から出版しました。本展覧会は両者の代表作である富嶽三十六景と保永堂版東海道五十三次を中心に北斎と広重の風景画の魅力に迫ります。



「富嶽三十六景 凱風快晴」葛飾北斎



「東海道五十三次保永堂版 原」歌川広重

特別展 初！全点一挙公開 久保惣の西洋絵画 — モネ、ルノワール、ゴッホをはじめとして — 7月5日(日) — 10月4日(日)

美術館が所蔵する、寄託品も含めた西洋美術を一挙公開する展覧会を開催します。当館は東洋古美術の専門館として開館し、現在にいたりますが、平成9年の新館開館以来、西洋美術専用の常設展示室を設け、大阪でも数少ない年間通じて西洋絵画を鑑賞できる施設となっています。市制70周年にあたり、現在、美術館の顔の一つとなっている西洋美術を初めて全点まとめて公開いたします。モネ、ルノワール、ゴッホという日本人になじみ深い画家たちの作品をたっぷり堪能していただきます。



「花飾りの女」オーギュスト・ルノワール

令和8年は和泉市の市制70年にあたります。美術館では、Izumi 70th Anniversaryとして、4つの展覧会を市制70周年の記念展として開催します。和泉市の誇る美術館として、美術館を代表する作品を特集し、美術館の多様な魅力をご観いただけます。特に、市制施行70周年を迎えます令和8年9月1日を期間を含む特別展では、開館以来初となる、美術館が所蔵する西洋美術を一挙公開する展覧会を開催します。

特別展 Ocean View・横須賀ストーリー

— 横須賀美術館コレクション展 —

10月25日(日) — 12月25日(金)

互いに自衛隊駐屯地があることをきっかけに、令和6年度に美術館同士の防災協定を締結した横須賀美術館の所蔵品をご紹介します。横須賀美術館は東京湾を望む三浦半島の観音崎に位置する美術館です。本展覧会は横須賀美術館が所蔵する日本近現代の俊英たちによる絵画、週刊誌の表紙で長年親しまれた谷内六郎の作品、海をテーマとした作品など横須賀美術館の魅力を余すことなくお伝えします。海に面していない和泉市において海への憧れや魅力を備えたコレクションをお楽しみください。



谷内六郎《海のサイダー》1957年 横須賀美術館・谷内六郎館蔵 ©Michiko Taniuchi

コレクション企画展（常設展）

茶の湯の美 — 千利休が開いた世界 —

2027年 1月17日(日) — 3月22日(月・振)

市制70周年記念展覧会の最後を飾るのは、浮世絵、西洋美術などにも美術館の顔の一つである、茶道具の名品による展覧会です。久保家の歴代代表者が収集し和泉市に寄贈された茶道具は、国宝、重要文化財を含む日本、中国の工芸品の精華ともいえる内容となっています。利休所縁の作品も出陳し、日本の美意識に大きな影響をもたらした利休の茶の湯の世界にも注目します。また、耐震工事(1期)を完了した当館の聴泉亭、惣庵の茶室にちなみ、元となっている表千家の茶室などについて写真や資料で紹介し、茶道具とともに茶の湯の世界をご紹介します。



重要文化財 「黄瀬戸立鼓花入 銘旅枕」



「千利休像」土佐光芳